

知事とのふれあい対話（指宿市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
介護職の人材確保について	<p>2025年になれば、75歳以上の方が増えて、介護職がとて必要になると思うが、その人材確保というのが、急務であるということは、肌を感じているが、どうしたら人材が増えるのかというのが課題。</p>	<p>県では、介護職員を確保するため、地域医療介護総合確保基金等を活用し各般の施策を行っています。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護の魅力の情報発信や介護職員のキャリアアップのための実務者研修の受講支援、 ・介護職員の負担軽減を図るための見守りセンサーや入浴支援機器などの介護ロボットの導入、 ・介護記録から請求業務まで一元的に管理できる介護ソフトなどのICTの導入、 <p>等の支援を行っています。</p> <p>このほか、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人介護人材を受け入れる介護施設への学習・生活支援経費の助成、 ・県内での就労を目指す外国人留学生に学費等を給付する介護施設への助成、 <p>等の外国人材の活用にも取り組んでいます。</p> <p>今後とも市町村や関係団体等と連携し、介護人材の確保に努めてまいります。</p>	<p>介護保険室</p> <p>社会福祉課</p>

知事とのふれあい対話（指宿市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>子どもたちの居場所である学校に余裕を生み出すことについて</p>	<p>学校現場や子どもに関わる方達等を見てきて感じていることが2つあって、まず子どもたちの不登校とかいじめとかいった問題というのは、大人社会の写し鏡だなというのを、つくづく感じている。それと、子どもも大人もみんな余裕がない、というのを感じている。</p> <p>子どもが、伸び伸び、生き生きできる社会を実現するというのが、大人もみんな生き生きするというのにも繋がると思うので、いろんな方法があると思うが、まず、子どもたちの居場所である学校に余裕を生み出すにはどうしたらいいのか、知事のお考えもお聞きしたい。</p>	<p>県教委では、全児童生徒が学校で安心でき、自己存在感や充実感を感じられるように、行事や学級活動、生徒会等で児童生徒が活躍できる場としての一人一役などの「居場所づくり」の取組や、児童生徒が様々な話合いや学校行事等を主体的に行う「絆づくり」の取組を通して教師と児童生徒と一緒に「魅力ある学校づくり」を推進しています。</p> <p>また、悩みを抱える児童生徒や保護者の相談等に応じるため、臨床心理士等相談員を全ての学校に派遣したり、福祉等関係機関との連携を通じた生徒の生活環境等への働きかけなどに取り組んでいます。</p>	<p>義務教育課 高校教育課</p>
<p>経営陣の働き方改革について</p>	<p>働き方改革で、うちの周り、農家さん、結構今、法人化していったるが、生産者の方とかの働く人はこの法律で守られているが、経営陣は、どうしても休みがなくなっていってしまうので、そこをどうやってうまくやっていけばいいかというのが、一緒に考えられたらなというのを思っている。</p>	<p>県では、経営者の働き方改革も含めて、法人等が抱える経営上の課題解決に向けて「かごしま農業経営相談所」による社会保険労務士などの専門家派遣を実施しているところです。</p> <p>また、経営発展を目指す農業経営者や農業法人の経営幹部等を対象に、営農しながら、経営管理、労務管理、マーケティング手法などを、講義とワークショップ形式で学べる「かごしま農業次世代トップライダー塾」を開講しており、企業的な経営感覚の優れた農業経営者の育成に取り組んでいます。</p>	<p>経営技術課</p>

知事とのふれあい対話（指宿市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
物価の上昇に対応する経営対策について	<p>コロナが最近すごく落ち着いてきて、今からいい野菜を作って頑張ろうというときに、いろんなものが値上がりした。ガソリンが上がったり、肥料が上がったり、最低賃金が上がったり、いろんなものが上がったが、いろいろ節約をしてやっていってるが、経営努力だけではちょっと立ち行かなくなるんじゃないかなという不安がある。何か対策とか政策とかあれば教えてほしい。</p>	<p>県では、農業機械の導入による省力化低コスト生産や、土壌診断に基づく適正な施肥管理への支援を行っております。</p> <p>また、県産農産物の販路拡大に向けて、安心・安全で品質の良い農畜産物を計画的・安定的に供給できる産地づくりと、県産農畜産物のイメージアップによる販路拡大に取り組んでおります。</p> <p>なお、軽油については、農業用機械等を使用する場合、軽油引取税を課税免除する制度がありますので、地域振興局県税課にご相談ください。</p>	<p>農産園芸課 経営技術課 食のブランド推進室</p>
鰹節及び出汁文化のPRについて	<p>本県の鰹節生産量は全国供給の70%を占めているが、その消費量が年々減少しており、皆さんと一緒に知恵を出していければなと思っている。</p> <p>それから、輸出規制の緩和や、大きく強力な鹿児島県産というブランディングが今後必要であると思う。国内、海外共に、鹿児島県が食料基地として発展し、出汁文化の県にしていって欲しいと思う。</p>	<p>県では、鰹節や出汁文化について、毎年水産物品評会を通じて、流通関係者等に出品商品を紹介するなど、鰹節などの本県水産加工品のPRを行っているところです。</p> <p>また、本県水産物の輸出促進については、マーケットイン型の輸出に取り組むこととして、新商品開発や販売促進、商談等に係る取組を支援しているところであり、鰹節など本県水産加工品の海外へ向けたPRについても取り組んでまいります。</p>	<p>水産振興課</p>

知事とのふれあい対話（指宿市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
缶詰工場等の誘致について	<p>山川のインフラ、港については、大きい缶詰工場等の誘致に力を尽くして欲しい。原料の仕入れがやはり乱高下するので、そういった缶詰や、他の製品向けの大きな会社を誘致して、安定的に船が入ってくるような施策をしていただいて、水産業と共同で、魚を使った缶詰とか、加工食品とかの開発等でもっと鹿児島県、指宿という地域のものの、開発を進めていければと思う。</p>	<p>県では、本県の特徴であるアジアに近い地理的優位性や、国内外を結ぶ充実した交通インフラ、優秀で豊富な人材、豊かな地域資源など魅力あふれる立地環境を積極的に広くPRしながら、食料品製造業を含めた企業の誘致に取り組むとともに、本県に立地する企業に対しては、事業所の新設・増設、設備の更新に対する補助等の支援を行っております。その結果、令和2年度は、食料品等の製造業については11件の立地が決定しました。引き続き、積極的な企業誘致に取り組むこととしております。</p> <p>水産加工品の開発については、消費者ニーズに対応した付加価値の高い新商品開発を図るため、毎年水産物品評会を開催するとともに、県水産技術センターにおいて新商品開発を支援しているところです。</p> <p>また、（公社）鹿児島県特産品協会等と合同で、新特産品コンクールの開催による鹿児島の素材を生かした新商品の開発促進や、PR・販路開拓への支援を行っています。</p>	<p>産業立地課 水産振興課 かごしまPR課</p>

知事とのふれあい対話（指宿市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>観光（パッケージ、発信力、見せ方、業者の育成等）について</p>	<p>観光、畜産、水産、いろいろな優秀な事業者がそろっているが、それをパッケージとして、全然生かしきれてないんじゃないか。指宿を和食の里と位置づけ、本県を日本のミニマムなテーマパークみたいな形でもっとPRする方法がないものか。指宿は今ハワイで押しているが、そのハワイも和風なハワイというか、その辺ももうちょっとひねりを入れてもらえればと思う。いずれにしても、発信することが重要なので、その発信力という点で、私もSNSとか、インターネットで紹介しているが、その辺の、アイデア、デザインだったり、新しい見せ方みたいな、もっと県内で、そのような業者の育成、もっと近場で、簡単にやりとりをしながら、発信していけるような体制づくりというのが重要なんではないかと思う。</p>	<p>観光振興のためには、地域の多様な主体が連携して、広域的にパッケージとして「観光地域づくり」に取り組むことが重要であり、その中心となるのがDMOのような組織であると考えております。</p> <p>このため、県としては、稼げる観光地域づくりに向けた組織づくりや、これを支える人材の育成に取り組んでいるところです。</p> <p>指宿では、「いぶすき観光デザイン」が登録DMOを目指して取り組んでおり、県としては、「いぶすき観光デザイン」の取組を支援してまいります。</p>	<p>観光課</p>

知事とのふれあい対話（指宿市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>牛の飼育に飼養するノコクズの確保について</p>	<p>牛を飼う中で、人でいう布団に位置する「ノコクズ」が不足している。コロナ禍において、ウッドショックによる木材不足もあるが、それ以前から、木質バイオマス発電などの方にも引き合いがあつて、我々畜産に回ってくる「ノコクズ」の不足が懸念されている。「ノコクズ」が足りなくなると、においだったり、周りの方への迷惑にもつながり、改善がなかなかできないところもある。我々も、いろいろな菌を入れてみたり、努力はしているところであるが、「ノコクズ」は絶対不可欠なものであるので、木材の確保に協力していただけたら助かる。</p>	<p>おが粉（ノコクズ）の流通状況について、ＪＡ等に聞き取り調査を行ったところ、県全体では概ね畜産農家の需要を満たしておりますが、地域によっては、地域内での供給が一時的に不足する場合がありますと聞いています。</p> <p>このため、県では、地域のおが粉製造業者や畜産農家、ＪＡなどの関係者間におけるおが粉の需給情報の共有を図るとともに、引き続き、おが粉製造施設の整備支援や原料となる木材の安定供給体制づくりに取り組んでまいります。</p>	<p>畜産課 かごしま材振興課</p>

知事とのふれあい対話（指宿市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>なのはな館の今後の取り扱いについて</p>	<p>なのはな館が全く使われてないことについて、いくつか方法があるかなと思って、 一つ目は、この全く使われてないものを、利活用する方法。 もう一つは、どこかに売却してしまうという方法。 もう一つは、建物自体を壊してしまうという方法。 もう一つは、今の現状のままにってしまうという方法があると思っています、どれを取っても、コストの問題とか、例えば取り壊すとなったら多分、すばらしい建物なので、関係団体からの反対もあるでしょうし、そのまま維持するとなっても、どんどん朽ちていってしまっ、このままの状態を維持するのが一番選択肢としてありえないだろうなと思っています、知事としての見解をお聞かせいただきたい。</p>	<p>旧なのはな館の県有建物については、解体する方向で検討しており、その前提で関係者との協議など、必要な調整を行っているところです。</p>	<p>高齢者生き生き推進課</p>

知事とのふれあい対話（指宿市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>国道226号線の計画における、ドローンや、自動車の自動運転技術の活用について</p>	<p>最近になって、ドローンとか、車の自動運転という技術が出てきて、新たな変革が求められているタイミングに来てるなと思っている。</p> <p>鹿児島は、離島が全国でもかなり多い県で、ドローンの活用の仕方とか、あとは本土でいうと、錦江湾を隔てて、車での移動が大変になってしまふというところだということ、自動運転のような技術が加わると、非常に恩恵を受けやすい県なのではないかと思っている。</p> <p>指宿でいうと、国道226号線が整備されているが、渋滞の問題とかいろいろある中で、ぜひこの計画の中に、車の自動運転やドローンの技術を盛り込んでいただきたい。</p> <p>要は、この20年ぐらいの間で、いろんな技術ができてくるので、ぜひともこの226号線の整備をする中に、20年先を見据えた計画を盛り込んでいただきたいなと思って、ここについても、知事のご意見を聞かせていただければと思う。</p>	<p>県では、地域の実情に合わせ、最新技術の活用可能性を検討することは重要と考えており、現在、新たなモビリティサービスであるMaaSや各公共交通機関のオープンデータ化等の取組について、検討を進めたいと考えているところです。</p> <p>道路分野において、ドローンや自動運転技術などICTの活用に当たっては、現在、様々な分野において新しい技術の開発が進められている。本県の地理的特性などを踏まえて、活用の方法やその効果などについて、国などの動向を注視しながら、検討してまいります。</p>	<p>交通政策課 道路建設課</p>

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>医療的ケア児のための医療型短期入所の設置について</p>	<p>医療的ケア児が医療的ケアを受けられる、「医療型の短期入所」という、新たな資源開発に向けて、指宿市でも自立支援協議会を通して、医師会をはじめとする地域の医療機関への要望書というものも提出してきました。しかし、現在に至るまで、なかなか叶うことなく、ケアを必要としている子どもに関しては、遠方にある医療機関、県内には4ヶ所あるが、そこまで行って利用せざるをえない状況になっている。在宅生活を希望するご家族にとっでは、親御さんの自由は奪われ、つきっきりの支援、介護を強いられている状況にある。ご家族についても、負担軽減のために、なおさら、その必要性というものは年々強くなってるといふふうを感じる。指宿市に設置して欲しいという目標はあるが、そこまでは言わないので、南薩圏域での設置という方向でも可能であればお願いしたい。</p> <p>今、南さつま市の方で県立薩南病院の建て替えが進められ、薩南病院の中には小児科もある。建て替えに伴って、その医療的ケアが必要なお子さんのための、医療型の短期入所であったり、家族が安心できる、子どものためのサービスというものを、設置していただければありがたいと思っている。</p>	<p>医療的ケア児の保護者がレスパイトとして活用できる施設として、医療型短期入所事業所があります。同事業所は医療機関が行うこととなっていますが、南薩地区には現在、同事業所がないところです。</p> <p>医療的ケア児の看護や介護にあたる家族の負担軽減を図るため、県では、訪問看護師が看護を行うための経費を市町村が助成する場合、その市町村に対して補助を行っているところです。</p> <p>また、医療的ケア児とその家族が地域で適切な支援を受けられるよう、総合調整を行う専門のコーディネーターの養成・派遣を進めているところです。</p> <p>今後とも、これらの取組を進めつつ、南薩地域における今後の対応について、地元市町とともに検討してまいりたいと考えています。</p> <p>新薩南病院の小児科については、地域における周産期医療体制の整備を第一として再開の準備を進めているところであり、医師の派遣元である鹿児島大学の意向も踏まえ、まずは小児や新生児の急性期医療を中心に取り組むこととしています。</p> <p>これに加えて、小児科に医療型短期入所の機能を設置できるかどうかについては、鹿児島大学との調整や体制整備など慎重に検討する必要があるため、開院後の小児科の患者の受け入れ状況等を踏まえ、将来的に検討したいと考えています。</p>	<p>障害福祉課</p> <p>県立病院課</p>

知事とのふれあい対話（指宿市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
障害福祉の分野に従事する者の人材不足について	<p>障害福祉の分野においても、全国的なことだが、この指宿市においても、ヘルパーの不足であったり、あとは児童発達支援員の不足と人材確保においても、本当に様々な問題を抱えている。障害福祉サービスにおいて資源開発をするとともに、人材育成においても、質の向上、若い力の参入も必要となっている。</p>	<p>障害福祉人材の育成・確保については、相談支援従事者研修、サービス管理責任者等研修（児童発達支援管理責任者を含む）及び強度行動障害支援者養成研修などを県の指定研修機関において実施しており、各研修において、実践研修や更新研修を行い、質の向上や人材の確保等に努めているところです。</p>	障害福祉課
ジェンダー平等の推進について	<p>働く女性が増加し、夫婦共働きの家庭が多くなった。朝起きて、ご飯、弁当を作って、子供を登校させ、自分も夕方まで仕事、帰ってきて、夕御飯準備に洗濯片付け、いつ子供の勉強を見るの、子供と遊ぶの、もう大変というお母さんがいる。家族みんなで分擔し、うまくいっている家庭ももちろんある。SDGsの17の目標5の「ジェンダー平等を実現しよう」。男女平等が謳われている中、まだまだ女性の力というものは弱く感じている。女性が働きやすい環境にして欲しいと思う。</p>	<p>女性が活躍する前提として、性別にかかわらず誰もが能力を発揮し、安心して働くことができる環境が必要であると考えています。そのため、令和3年度から女性の能力発揮の妨げとなっている職場等におけるジェンダー・ギャップ（男女格差）を解消するため、新たにジェンダー平等推進プロジェクト事業を実施し、プロジェクトチーム会議やかごしま若者会議（円卓会議）を開催するなど、県民の皆様の取組に向けた気運醸成を図っているところです。</p>	男女共同参画室

知事とのふれあい対話（指宿市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>学習用端末における県統一での学習指導等について</p>	<p>学校内では、大型テレビや、1人1台の学習用端末を有効活用し、視覚聴覚情報を生かした授業がスタートしている。便利であると同時に、いろいろな問題もあるようだが、授業充実に向けた教材研究の時間を確保することが難しくなっており、学校によって進み具合や生徒能力に差が生じないよう、県で統一してほしい。</p>	<p>県教委では、学習者用端末を活用した統一的で効果的な授業を行うために、研修やICTを活用した授業の事例の収集・発信、指導に活用できるコンテンツの配信・充実等に努めています。また、県の教育用ネットワークに情報交換の場を開設して、教師が取り組む上での課題の解決に努めています。さらに、教師の授業支援や研修等のために、ICT支援員を派遣しています。 こうした取組により、県全体の指導力の向上を図っています。</p>	<p>義務教育課 高校教育課</p>
<p>アプリでのいじめやトラブル等の対策について</p>	<p>全国でもアプリで、いじめやトラブルなども発生していると、今朝もニュースでやっていた。この対策についてもしっかりととっていただきたい。</p>	<p>県内公立小・中学校に配備された端末については、各市町村教育委員会が、アカウント及び類推困難なパスワードを児童生徒ごとに発行し、なりすましによるログイン等ができないようにするとともに、フィルタリング等を行っています。 また、情報モラル教育については、授業の中で相手の気持ちを考えてコミュニケーションを図ることや個人情報インターネットに掲載しないことなどの指導を行っています。 県教委でも、各学校で情報モラル教育に関する指導に活用できる資料の提供等を通じて、取組の徹底を図っています。</p>	<p>義務教育課 高校教育課</p>

知事とのふれあい対話（指宿市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
読解力の育成について	<p>基本的な漢字力，辞典の活用，読解力，表現力に課題がある。各教科，問題を解くにしても，読解力が必ず必要。読書の習慣の大切さ。読解力の育成に今一度力を入れて欲しい。</p>	<p>小・中・高等学校では，国語科だけではなく，全ての教科・科目において，課題に対する自分の考えを書かせたり，発表させたりする等の言語活動を充実させ，読解力や表現力の育成に努めています。</p> <p>また，読書月間を設け，読み聞かせや読書紹介を行ったり，授業では関連図書の紹介や，教科書以外の図書も活用して授業を行い，自ら本に手を伸ばす児童生徒を増やす取組を進めています。</p>	<p>義務教育課 高校教育課</p>
知事が着用しているマスクについて	<p>新聞やニュースで目にしていて塩田知事の鹿児島県のシンボルマークがデザインされた，今日も着けているブルーのマスクがとてもカッコよく，毎日気になっていた。多分手づくりだと思いが，教えて欲しい。</p>	<p>知事が着用しているマスクは，支援者の方からいただいたもので，特に販売はしていません。</p> <p>このマスクは，①表面の布，②不織布，③内側のガーゼ（抗菌・抗ウイルス）の三層構造になっています。</p>	<p>秘書課 広報課</p>

知事とのふれあい対話（指宿市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>これからの観光について</p>	<p>これから、鹿児島島の魅力ある観光ということを発信するにあたって、私たちが行っているようなこういう小さなゲストハウス、人と人をつないで、地域を大きく回っていただくことで、滞在日数を増やしたりとか、人とふれあう場面を増やす、こういったことが、これからの観光の魅力の一つとしてなり得るかどうか。知事のご意見、お考えを聞けるとうれしい。</p>	<p>価値観の多様化や個人のライフスタイルの変化とともに、地域の人や生活・文化にふれる体験型観光、テーマ別観光等、多様な観光の形態が求められており、近年では、団体旅行から個人旅行へのシフトが進んでいます。</p> <p>県では、現在、個人旅行者にも楽しんでいただくため、地域の主体的な取組の強化による、魅力ある観光地域づくりを進めるとともに、地域資源の発掘・磨き上げを行い、着地型旅行商品などの観光メニューの拡充に取り組んでいるところです。</p> <p>引き続き、地域資源の発掘・磨き上げに努め、幅広い関係者が連携した「稼げる観光地域づくり」推進のための組織づくりや人材育成等に取り組んでまいります。</p>	<p>観光課</p>
<p>地元アーティストの活躍の場について</p>	<p>県では、国体など大きな行事に使用する楽曲等は、鹿児島島出身者ではあっても、東京都内の大きな事務所所属するメジャーな歌手の楽曲を使用することが多いように思う。鹿児島の中でも、地元で活躍するすばらしいミュージシャンの方はたくさんいる。どうか彼らの楽曲採用もぜひご検討いただきたい。</p>	<p>今後、国体のような大きな行事に使用する楽曲等の制作に当たっては、地元で活躍する県内のアーティストも含めた候補者選定が行われるよう、候補者の選定方法について工夫してまいりたいと考えております。</p>	<p>文化振興課</p>

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>空き家対策に関する補助金の柔軟な取り扱いについて</p>	<p>実際に空き家対策というところを、知事にご意見いただきたいが、川尻だけの問題ではなく、指宿市、県全域、これも国の問題だと思う。そういうことから、ぜひ今後、柔軟かつ積極的な県の対応、市の対応が不可欠だと考えている。</p> <p>空き家を資源ととらえて活用するには、1件の物件に対して、長い期間と財源が必要になる。県の補助は、1団体3年までという縛りがあったり、市には1団体1事業というような縛りがあったりする。柔軟かと言われると、そうでない部分もあるかと思う。川尻元気プロジェクトだけではなく、いろいろな空き家に対して、取り組んでいこうと思う団体についても、使いやすいような補助金の申請であったり、申請の簡易化であったり、というところの支援対策をお願いしたい。</p>	<p>空き家対策については、空家等対策の推進に関する特別措置法により、市町村が地域の実情に応じて必要な措置を講じるよう定められており、県においては、空き家対策に関する市町村の取組に対し、研修会の開催や情報提供などの支援を行っているところです。</p> <p>引き続き、市町村と連携しながら、空き家対策に取り組んでまいります。</p> <p>川尻地区においては、県の地域振興推進事業を活用して空き家再生のPRなどに取り組んでいただけたところとす。</p> <p>地域振興推進事業は、地域振興局・支庁が、様々な地域活性化策等に取り組めるよう配慮しながら実施しております。本事業が地域で活動されているの方々により効果的に活用されるよう、引き続き市町村等と連携して取り組んでまいります。</p>	<p>住宅政策室</p> <p>地域政策課</p>

知事とのふれあい対話（指宿市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
指宿のオクラ、豆類栽培農家への支援について	<p>農水省の「高収益作物次期作支援交付金」について、指宿の特産品でもあるオクラは対象外となっている。豆類も対象とならず、指宿のオクラ、豆類を作る農家の収入は減り、コロナの収束を見通せない状況で、来年も収入が見えないことから、鹿児島県の独自の支援策と、国に支援の要望を出していただくようお願いしたい。</p>	<p>「高収益作物次期作支援交付金」は、令和2年2月から同年4月、令和3年1月から同年3月に新型コロナウイルス感染症の影響で、卸売市場での売上げが平年同月と比べ2割以上減少した品目が対象となっており、オクラや豆類は、この要件に該当しなかったところであります。</p> <p>県においては、様々なリスクからの農業経営の安定を図るため、自然災害や価格低下など、農業者の経営努力では避けられない収入減少を補償する収入保険への加入を促進しております。</p>	農産園芸課
里親に対する県の定期的な指導や見守り活動等について	<p>里親制度について、里親として認定され、養育されている方へ、県が、定期的に指導や、面談など、環境が安定しているか、また、問題はないかなどについて、里親に対して公費負担をしている以上、しっかりとしていただきたい。</p> <p>特に、単身者で里親になった方が認定を受けた後に、環境は安定した状態でもいるか、子供が成長に影響がないか、県がしっかりとしていただき、見守っていただきたい。</p>	<p>里親については、児童相談所の里親推進員や、児童養護施設等に配置された里親支援専門相談員が、里親宅の訪問等を行い、子育ての悩み事への相談対応や技術的な助言・指導をするなど、支援しているところです。</p> <p>また、定期的に養育状況調査を実施しているほか、必要に応じ訪問等を行い、委託後の家庭環境や養育状況等の把握を行っているところです。</p> <p>引き続き、子どもの最善の利益を念頭に、社会的養育の推進に努めてまいります。</p>	子ども家庭課

知事とのふれあい対話（指宿市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>山川高校教室へのエアコンの設置について</p>	<p>県立山川高校のエアコンについて、学校施設課の話と、校長先生がPTAに話す内容が一致せず、暑い中、子供たちは、エアコンのない教室で頑張っている。来年度からエアコンがつけられるように働きかけをお願いできたらと思う。</p>	<p>県立高校の空調整備については、図書室や保健室、パソコン室等に計画的に整備を行ってきています。限られた予算の中、多くの学校で校舎が老朽化し改築等が必要となっていること、国からの支援も限定的であることなどから、県立高校の普通教室の空調設備は、同窓会・PTAにより整備されているところです。山川高校においては、現在、PTAと整備に向けて協議しているところです。</p>	<p>学校施設課</p>
<p>県指定の介護施設についての指導のあり方について</p>	<p>指宿市内は地域密着型の施設が多いが、指宿市内の実地指導や集団指導は、規定に沿って適切な書類の管理と規定どおりに事業が展開されているが、県が指定する事業者の中に、指導が不十分だと感じる施設がある。県として、今後地域振興局の指導のあり方を見直すべきじゃないかと考えている。</p>	<p>各地域振興局・支庁が行う介護保険施設等への指導については、指摘や指導を行う上での重点事項や留意点等を情報共有し、指導レベルの標準化、共通理解を図っているところです。引き続き、適切な指導に努めてまいります。</p>	<p>介護保険室</p>

知事とのふれあい対話（指宿市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>棚田の中央に流れている河川の護岸整備について</p>	<p>今年の6月21日に国の指定棚田に指定され、この棚田を次の世代に残すためには棚田の管理道路の問題がある。少しの風雨で落石があったりして、危険な道路になっている。県道から600メートルぐらいだが、この道路を県の方で何とか対策を講じることができないか。</p>	<p>国の指定棚田地域の保全については、県としても重要だと認識しております。</p> <p>管理道路については、平成28年度に国庫補助事業の活用を検討しましたが、受益面積など実施要件を充足していないため事業化できなかった経緯があります。</p> <p>そのため、新永吉棚田保全委員会、道路管理者である指宿市と連携して、必要な対策が実施できるよう検討してまいります。</p>	<p>農村振興課 農地整備課</p>
	<p>棚田の真ん中に川が流れているが、その河口の池田湖の河口付近が、護岸が、右岸、左岸、もう何十年前から壊れたままになっている。</p> <p>あそこは昔は鮎の産卵場としても活用されていたみたいだが、その辺も何らかの対策はできないものか。</p>	<p>県の南薩地域振興局において現地を確認し、河川を管理している指宿市に対し、現地の状況について情報提供しました。その後、指宿市において、現地で立ち会いを行ったと確認しているところです。今後の対応については、引き続き指宿市にご相談くださるようお願いいたします。</p>	<p>河川課</p>